

さいたま市議会議員

# 阪本 かつみ 市議会レポート

【2010.4月号】

編集 発行 / 民主党・無所属の会 さいたま市議団 阪本かつみ

## — 市民に開かれた議会を目指して —

2月定例会で議案質疑に望む



### 阪本 かつみ

《役職》

保健福祉常任委員会 副委員長

見沼田圃将来ビジョン特別委員会 委員

都市計画審議会 委員

コンパクトなまちづくりに対応した土地利用検討委員会 委員

### 学校警備員配置の削減にまつた！

今回の予算案では、学校警備員配置の予算が削減されることが示され、保護者や地域の皆様から不安の声が多く寄せられました。

そこで、私たち民主党・無所属の会では、地域への説明に万全を期するためにも、その準備に特段の配慮いただくことを市長に要望いたしました。

その結果、警備員の配置期間を延長することとなりました。

### 保健福祉委員会で生活保護について質疑！

本市の生活保護の実情は？

本市の生活保護費の受給者は、10,259世帯、14,301人（平成22年1月現在）です。

生活保護費の不正受給者に対する取組みは？

生活保護ケースワーカーによる訪問調査活動による生活実態の把握、税務担当部署と連携した課税状況調査等により、被保護世帯の収入状況の把握につとめています。

22年度の不正受給件数は148件、6,800万円にもおよぶ。（3月17日現在）

### 清水市長 初の当初予算案が可決

2月定例会は3月19日、平成22年度予算案を含む市長提出議案97件、議員提出議案2件、委員会提出議案4件いずれも原案の通り可決し、閉会しました。

市民生活重視を掲げ、「しあわせ倍増」を目指す清水市長の初めてとなる当初予算は、経済不況の影響に伴い市税収入が73億円減収する一方、中学生以下医療費の無料化や生活保護費の市負担などで54億円の負担増となり、厳しい予算編成となりました。

### 「敬老祝金見直し」は継続審査に！

敬老祝金の見直しは、祝金支給の開始年齢を満75歳から、満88歳に改めるものです。そして、見直しにより得た財源については、地域包括支援センターの年中無休化や配食サービスの拡大などの高齢者福祉に充てられるものです。

高齢化の進展や平均寿命の延などを考えると、祝金に要する経費が年々増加することとなる他、高齢者にかかる福祉や保健、医療などの分野においても財政支出は増加していくことは明らかなです。

そのような中、他の政令市においても大半が祝金の廃止や見直しを行なっています。

私は、祝金の支給開始年齢を平均寿命以降に改定することや、金銭給付からサービス給付への転換を図ることは、妥当だと考えています。

しかし、その趣旨が理解されず動議が提出され、自民・公明・共産の賛成多数により「閉会中の継続審査」となってしまったことは残念です。

### 民主党・無所属の会さいたま市議団 「市政報告会」を開催します！

日時 4月29日（祝）午後2時～4時

会場 ソニックシティー・ホール棟4F  
国際会議場

参加費 無料

お申込み不要、どなたでも自由にご参加できます。

# さいたま市平成22年度予算

清水市長の初めての当初予算は、市長マニフェスト「しあわせ倍増プラン」に掲げた「子育て」や「教育」、「環境」に優先配分されたものとなった。

また、障害者と健常者が地域で共に暮らせる条例の制定や、特別擁護老人ホーム整備推進のための予算が拡充されるなど、「市民生活重視」の予算編成を実施した。

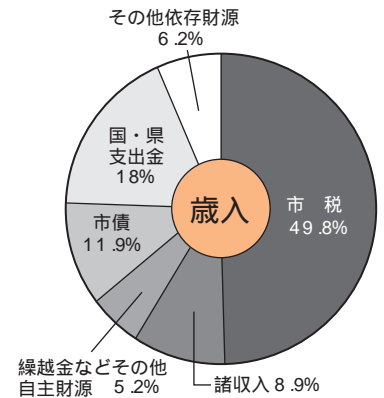
## 予算編成過程の公開

今回の予算編成では、局長との予算折衝の一部を報道機関に公開したり、各段階における査定状況をホームページ上で公表しました。

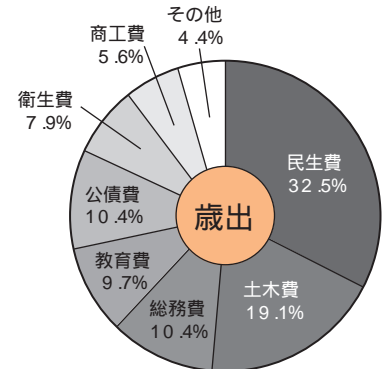
市民（納税者）の理解を得るには予算編成過程の透明性確保は欠かせません。今後ともその充実を求めてまいります。

## 予算規模

一般会計	4290億円	(前年度比9.6%増)
特別会計	1845億6700万円	(前年度比5.7%増)
企業会計	1092億8234万円	(前年度比1.9%減)
合計	7228億4934万円	(前年度比6.7%増)



## 一般会計の歳出・歳入内訳



## 平成22年度主な事業

- ～子どもの夢を育むまちづくり～
  - 待機児童ゼロプロジェクト  
(保育園、ナースリールーム・家庭保育室、放課後児童クラブの整備・運営費助成)
  - 土曜チャレンジスクール  
(土曜日に児童・生徒の自主的な学習をサポートする)
  - 放課後チャレンジスクールの実施  
(児童・生徒の勉強・スポーツなどの機会を提供する)
- ～安心して長生きできるまちづくり～
  - 地域包括支援センターの年中無休化
  - 配食サービスを週4回から5回に拡大
  - シルバー元気応援ショップ制度の創設  
(高齢者の買い物に割引などの優待制度を開始する)
- ～日本一健康で元気なまちづくり～
  - 多目的広場倍増プロジェクトの推進
  - 民間住宅の耐震化補強事業の拡大  
(診断・補強助成に加え、シェルター・建替え助成)
- ～環境先進都市づくり～
  - 市有施設・小中学校のLED化・太陽光発電設備設置
  - 保育園庭、小中学校庭の芝生化、緑のカーテン化
- ～さいたまニューディール～
  - 自立生活支援対策プロジェクト  
(緊急特別住宅手当の支給、生活就労相談・支援)
  - 中小企業資金融資の拡大

## 徹底した行財政改革を望む！

### 聖域なき棚卸により約114億円を削減

私たち民主党・無所属の会は、将来世代にツケを残さないためにも、時代に合わせた各種事業の見直しや市民負担の公平化は必要と訴えてまいりました。

清水市長は平成22年度予算編成を「行財政改革元年」と位置付け、市民ニーズや事業効果を考え、徹底した事業の見直しに取り組んでいます。

- 職員数の削減と給与改訂
- コムナーレ販わい創出事業の廃止
- 記念総合体育館への指定管理者制度の導入
- 与野清掃事業所の廃止
- 下水道使用料の改定に伴う繰出金の見直し
- 団体等の運営費に対する補助金の見直し



こどもに「夢」を！  
お年寄りに「安心」を！  
市政に関するご意見・  
ご要望をおよせください。

さいたま市議会議員

**阪本 かつみ**

連絡先：〒338-0836 さいたま市桜区町谷3-24-15  
TEL 048-710-4022 FAX 048-710-4023  
E-mail sakamoto-k@kfx.biglobe.ne.jp  
<http://www.7a.biglobe.ne.jp/sakamoto-k>